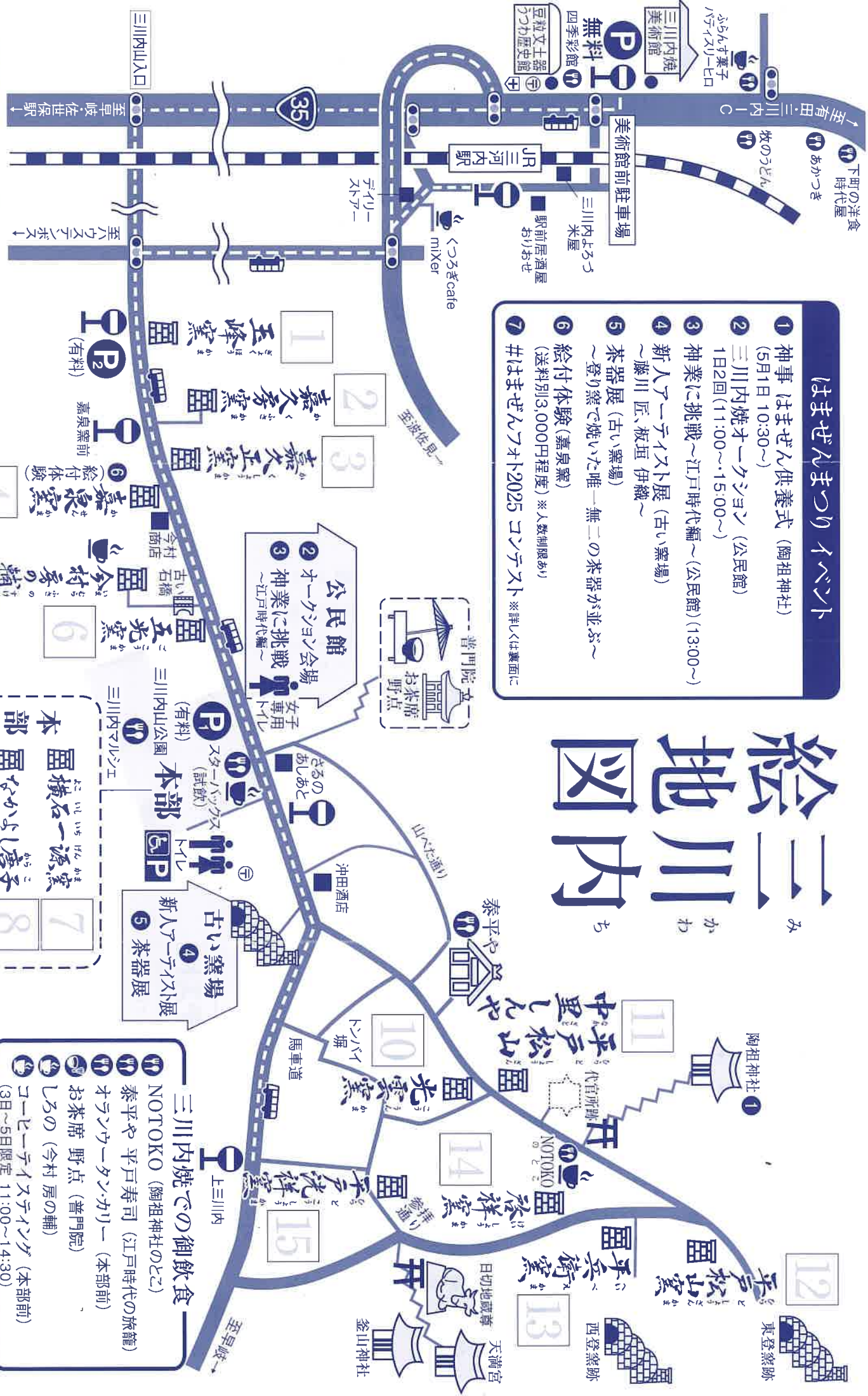


はまぜんまつり イベント

- 1 神事 はまぜん供養式 (陶祖神社)
(5月1日 10:30~)
- 2 三川内焼オーケシヨソ (公民館)
1日2回(11:00~15:00~)
- 3 神業に挑戦~江戸時代編~(公民館)(13:00~)
- 4 新人アーテイスト展 (古い窯場)
~藤川 匠、板垣 伊織~
- 5 茶器展 (古い窯場)
~登り窯で焼いた唯一無二の茶器が並ぶ~
- 6 絵付体験 (嘉泉窯)
(送料別3,000円程度) ※人数制限あり
- 7 井はまぜんフォト2025 コンテスト ※詳しくは裏面に

三川内 絵地図



無料循環バス運行案内

運行予定時間 20~30分間隔にて運行
 停留所 三川内山入口 至早岐 佐世保駅
 乗場 三川内山入口 至早岐 佐世保駅
 ※原則として降車自由です。(運行状況により異なる場合があります)

協賛 / 三川内陶磁器工業協同組合・さるのあしあと・ホテルオーケラJRハウステンボス・NOTOKO cafe&space・三川内山町内会及び町民の皆様

三川内焼窯元 はまぜん祭り

令和七年 五月一日～五日

三川内焼

一万二千年前の世界最古級の豆粒文土器が出土するような洞窟遺跡も数多く残る九州北西部の地 佐世保

縄文の古き時代より土をこね焼き物を作り続けておりましたそこに戦国時代 平島からの陶工達が海峡を越え唐津に

そして大陸からも陶工達が海を渡り平戸にやってきましたこれら焼き物の日本史を創り出してきた三つの大きな流れが

平戸のお殿様の藩の採算を度外視した庇護のもとこの地でひとつになり白い天草陶石と出会った

そして職人達はひたすらに技術を磨き意匠を凝らし天皇家及び将軍家への数々の献上品や白磁の逸品を生み出し

皇帝ナポレオンの時代にはヨーロッパ王侯貴族のオーダーにも応え輸出までするほどに極めてきたのです

四百年の歴史と手技そしてその遺伝子を今に引き継ぎ繋ぎ続けている陶工達の暮らす集落 三川内皿山にて

さつきの風に吹かれて
ゆっくりのんびり
窯元めぐり

はまぜん

やきものと言うものは

窯で焼成する間に全体が 一割ほど収縮します

その際の歪みを防ぐ為に

器と同じ素材で作られた「はまぜん」の上に乗せて焼き

器と同じように収縮させ歪みを防ぐと云うものです

上質の三川内焼を生み出すなかで

無くてはならない存在なのですが

その性質上 一度の使用で役目を終えます

「はまぜん祭り」ではその大切な道具「はまぜん」と先達に

深く感謝の意を表し毎年 五月一日の陶祖神社での祭礼にて

陶工がろくろを廻し「はまぜん」の奉納も行っております

透き通るような磁肌と淡く繊細な藍の色

小さな町の窯元めぐりをお楽しみください

#はまぜんフオト2025コンテスト

instagram及びfacebookで投稿期間内に三川内焼の写った素敵な写真を「#はまぜんフオト2025」を付けて投稿して選ばれ
るとはまぜん祭り参加窯元の三川内焼を買える高価商品券を
プレゼント!

窯元が選ぶ 窯元賞(2名様) ¥15,000の商品券

投稿期間 4月15日(木)17時～ 5月5日(月)17時締切
当選者発表 5月6日(火)20時 SNS上にて発表

お問い合わせ

三川内焼窯元 はまぜん祭り実行委員会
長崎県佐世保市三川内町343 TEL.0956-30-8311
Information <https://www.mikawachaware.or.jp/>



●景徳鎮



平戸



伊万里



有田

佐世保



三川内



波佐見



ハウステンボス

●長崎

天草

●博多